

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行く必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

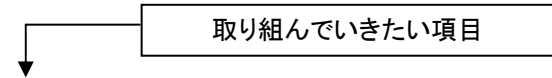
○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム モン・サン井手園
(ユニット名)	モン・サン井手園 II(3階)
所在地 (県・市町村名)	長崎県西彼杵郡時津町元村郷897
記入者名 (管理者)	松本 由美子
記入日	平成 20 年 2 月 15 日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>グループホーム モン・サン井手園が掲げている運営理念、「やさしく・楽しく・元気よく」を、私たちの理念として、何においても運営理念を心掛けています。</p>	<p>○</p> <p>地域の行事(秋に催される町民文化祭など)に参加するなどして、入居者の方々がその地域の一員であるという意識を持って頂けるよう、支援を行っています。</p>
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>グループホームとしての在り方・考え方としてを、日々の業務の中でも取り組んでおり、いつも笑顔を決やさない温かいホームの運営に努めています。</p>	<p>○</p> <p>入居者と心の通った、温かいケア業務を行ってゆきたいと、日々努力しております。</p>
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	<p>入居者の方々がその土地で楽しく暮らしてゆけるよう、いつも家族や地域の方々に対しても、明るく笑顔で挨拶を交わし、理念に基いた取り組みに努めています。</p>	<p>○</p> <p>近所のスーパーへ買い物に同行する際も、他のお客さんに対しても無愛想にせず、通路を譲って頂く際には、笑顔で接しています。</p>
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>朝からでは、誰とでも挨拶を交わし、散歩されている近所の方々も、ホーム入口の花壇の花の生育や、ホームの建物について聞いて来られたりして、普段から交流を行っています。</p>	<p>○</p> <p>ホームの夏祭りでの地域住民の方々の参加などで、交流を持っています。</p>
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>地域の一員としてホームは自治会に加入しています。近所の一斉清掃や、団地の夏祭りの加勢にも参加。私たちが毎年行っている「夏祭り」を運営する前には、自治会長と祭りの運営について相談を行ったりして、交流を行っています。</p>	<p>○</p> <p>年に一度、井手園屋外で開催している「グループホーム合同の夏祭り」においても、近所の方々にも参加して頂いたり、近くの敷地を心良く使わせて頂いたり、地域の方々の温かい理解と協力を得ております。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	併設しているデイサービスセンターや、ケアハウス等と情報交換を行い、地域の方々との関わりをできるだけ持つようになっています。	○	最近では、「認知症高齢者を抱える家族の会」の皆様へ、ホームの見学と説明会を行い、モン・サン井手園が地域にどのような役割を果たしているのかを理解して頂きました。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価や外部評価を通して、ホームの理念や入居者の方々に対する接し方・在り方を再認識しています。	○	
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現在、運営推進会議を一度も行っておらず、早急に内容の立案・検討を行い、運営推進会議の発足までにつながる様に努めます。	○	少しずつではあるが、出来ることから行っています。これからも引き続き取り組んでいきたいと思います。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	昨年の夏はグループホームのお祭りを催す際、時津町役場の福祉部の職員の方より、お祭りの開会時に挨拶をして頂きました。地域にアピールできるホームとサービスの向上を目指して、更に取り組んでゆきたいと思います。	○	
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	管理者や職員は研修会などに参加し、学習し、入居者の個々の必要性を話し合い、活用、支援しています。	○	職員の全てが、色々な研修会へ参加し、学ぶ事の必要性を認識できるように努めてゆきたいと思います。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	入居者の方々に対する態度、言葉の暴力、身体拘束などがないよう、職員同士の話し合いの機会を持つようになっています。	○	虐待の防止の徹底については、全ての職員が認識し、毎日のケアの中で、虐待が見過ごされる事がないように注意を払い、虐待の防止に努めています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約・解約にあたっては、利用者や御家族へ契約書を用いて十分に説明を行い、その際に分からない事や疑問に答え、利用者や御家族の理解と納得を得られた上で、その旨の同意書を取らせて頂いております。</p>	○	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>入居者の方々からのご意見があれば、その場で直接お話しを伺い、改善・解決出来る意見の内容であれば直ちに対応を行う。入居者の方々本位のサービス向上提供に努めております。</p>	○	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>御家族へは面会に来られた時に、最近のホームでの暮らしぶり・健康状態等を報告を行っています。また、定期的な病院受診で入院が必要になられた時等も、事前に電話で報告を行って了解を得ています。</p>	○	<p>入居者の金銭管理については、自身で管理が難しい方には御家族より必要な金額を事務所で預かり、出納帳を用いて本人様が使われたい時に必要な金額が使われております。また、御家族の面会時にその出納を明らかにして、了解を得ています。</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>御家族からの貴重なご意見・要望があれば、その場で改善・解決が出来る内容であれば柔軟に対応を行い、その意見の反映に繋げております。また、その場で解決できない問題であれば運営者である施設長へ相談し、改善に向けて取り組んでいます。</p>	○	<p>ホームの2階・事務所前に「意見箱」を設けており、御家族等の意見・不満・苦情を寄せて頂けるようにしております。寄せられたご意見に対しては、迅速に対応と協議を行い改善策を立案し、解決に向けた答えを導き出せるよう努力をしております。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>些細な事からでも大切な意見であり、職員の声に対しては常に聞き、運営が改善出来るように取り組んでおります。その問題に対して完全な答えを導き出すのは難しい場面もありますが、何事にも解決に向けて取り組んでおります。</p>	○	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>職員が出勤時間を少しずつずらし、臨機応変にいつでも職員が対応出来るように、努めています。</p>	○	
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>運営者である施設長は、職員の異動等を行う際は、ホームのケアマネージャーや看護師らの助言等を含め、入居者の方々の心配を考慮・検討した上で、入居者へのダメージを必要最小限に抑える努力を行っています。</p>	○	<p>職員の移動の際は、いっぺんに変わる事なく、最小限に抑えています。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ホームの運営者である施設長は、管理者・職員らの実力向上を図る意味で、不定期に開催されるグループホームを対象とした研修会への参加を積極的に促し、また、社内研修として月に一回は系列の全グループホームの職員を対象とした研修会を実施しており、職員の質の向上に取り組んでいます。	○	
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	モン・サン井手園はグループホーム協議会へ加入し、その研修会等における他ホームとのグループワーク参加等において、お互い違う職場同志のスタッフらで、ケアに対する意見の交換を行ったりして、サービスの質の向上に取り組んでいます。	○	
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	運営者は常に、職員のストレス軽減の為に工夫や、環境づくりを心掛け、取り組んでいます。	○	系列での職場対抗ボーリング大会、慰安旅行の実施など、ストレス発散の場の提供があります。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	運営者である施設長は、職員さん達の状況を常に把握し、個々の能力に応じた就業ペースの配分を行い、長く働き続ける事が出来るように努めています。	○	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前に、ホームのケアマネージャーを介して本人様とご家族の面談を行い、困っている事はないか？不安な事はないか？等のヒヤリングを行い、本人様の希求されている事を十分に把握出来るように努めています。	○	また、ホームのケアマネージャーより本人様に対して、ホームはどんな所か？生活を始める上での分かり易い説明をさせて頂き、本人様の不安を解消出来るような案内役を努めさせて頂きます。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	初期段階においてはケアマネージャーが、入居されてからはその階のリーダー(その階の計画作成担当者)が、本人様に対する御家族からの要望や、抱えておられる問題を伺い、御家族との信頼関係に繋がってゆくよう努力しています。	○	ホームのケアマネージャーと、そのユニットのリーダー(その階の計画作成担当者)が中心となり、本人様のホームでの生活ぶりや、こちらからの相談(本人様の生活に必要な物品の依頼や、本人様が普段訴えられている事 例:お金が心配・家族はどうしているか等)などを御家族へ相談しています。(面会時・電話などを利用)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人様と御家族と納得いくまで話をし、サービスを提供していく努力をしています。	○	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	馴染めるまで人それぞれの時間が異なるように、本人様に合わせたケアを行なうように努めています。	○	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者とのコミュニケーションを取りながら、生活の知恵など参考になる事を取り入れながら、過ごして頂くように努めています。	○	
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	本人様が自宅で生活されていた時の様子や、以前の仕事や趣味などを聞いて、ケアに役立てるように努めています。	○	
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	認知症であっても、できる・できない、分かる・分らない事を御家族に説明しながら支援を行なうように努めています。	○	
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	御家族以外にも、友人・知人にいつでも面会に来て頂けるような雰囲気作りに努めています。	○	
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	一緒に洗濯物をたたんだり、分担した共同作業を行って頂いたり、レクリエーション等で人間関係ができるよう努めております。	○	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去された御家族からの問い合わせや、ホームに対する相談など気軽に応じるようにしています。	○	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	何事も無理と決めつけず、家族や職員と話し合い、本人様が納得のいく方向で検討し、実現につなげております。	○	日常の中で、入居者の方々の意向を把握して検討しますが、それが困難な場合もあります。そんな場合には入居者の気持ちを優先して考えてゆくようにしています。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	御家族や以前のかかりつけの病院などから、情報を集め、カルテにファイルして職員がいつでも情報が見られるようにしております。	○	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するよう努めている	一人ひとりに合わせた生活スタイルを毎日の生活の中から見極め、活かせるように努めています。	○	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ホームのケアマネージャーから本人様・御家族の意見を取り入れ、介護計画を作成しています。	○	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	認知症の進行、病気・ケガ等の発症に応じて、ホームや家族、場合に応じて医師に相談して介護計画を作成しています。	○	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日、個人一人ひとりの様子を記録して、チームで話し合っ てケアに活かしたり、御家族に報告したりするのに活かして います。	○	
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々 の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援 をしている	医療機関(清水病院)との協 力体制が整っており、本人様 のホームでの体調面におい て、緊急性を要する入院・治 療が必要な場合でも、24時 間受け入れる態勢がありま す。	○	本人様の身体機能の回復・維持のリハビリテーションを期 間を設けて、本人様・御家族の希望により、協力病院(清水 病院)で受けて頂く事ができます。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に 応じて、民生委員やボラン ティア、警察、消防、文化 ・教育機関等と協力しなが ら支援している	地域のボランティア学生の 受け入れ、警察へのホーム 周辺の防犯パトロールのお 願い、消防からの消火訓 練での指導、小学校から の小学生のホーム訪問の 依頼等、周辺地域との関 わり合いを大切にしながら 、本人様のホーム生活の 支援を行っています。	○	
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に 応じて、地域の他のケア マネジャーやサービス事 業者と話し合い、他のサ ービスを利用するための 支援をしている	本人様や御家族の意向 や必要性に応じて、他の サービスを利用する為の 支援を行うにあたっては 、当ホームのケアマネ ジャーを紹介し、地域の 他のケアマネジャーやサ ービス事業者と協議・検 討し、他のサービス利用 の活用支援に努めていま す。	○	本人様や御家族の相談 に応じた、他のサービス の為に情報提供や、サ ービス利用にあたっての 説明等を、分かりやす いよう説明させていただきます。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に 応じて、権利擁護や総 合的かつ長期的なケア マネジメント等につい て、地域包括支援セン ターと協働している	本人様・御家族の意向 や必要性に応じて、権 利擁護や総合的かつ長 期的なケアマネジメント 等について、地域包括 支援センターへ相談を 行い、協働する事に努 めております。	○	
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望 を大切に、納得が得ら れたかかりつけ医と事 業所の関係を築きなが ら、適切な医療を受け られるように支援して いる	医療面では、個人々 での定期的な医療機 関(眼科・皮膚科等) への病院受診での付 き添いと送迎のサー ビス提供、また、個 々の体調の変化を医 師に相談出来る協 力病院(清水病院) のバックアップ体 制が整い、適切な 医療が受けられる よう、本人様・御 家族に対しても安 心してホーム生 活を送って頂 けるように支援 しております。	○	治療に時間を要する 歯科の受診も、往診 と治療がホーム で受けられる体 制が整っており、 本人様・御家族 の要望があれば 受けて頂けるよ うにしております。 治療・経過に 関しては、御家 族へその受診毎 に報告をさせて 頂いております。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	系列病院での病院の医師に相談でき、診察や治療も受けられるようになっております。	○	
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	ホームに看護職員が常勤しているので、いつでも相談できます。	○	毎日の健康状態の変化等を、ホームの看護師は熟知しており、ケアにあたる職員も入居者の身体状態の変化を見逃さず、何か異常が見られれば逐一、ホームの看護師へ相談・報告を行っています。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	医療職との情報交換を行い、その方の症状に応じて、早期治療・早期退院へ向けての話し合いや、相談・協力を努めております。	○	認知症の方が長期に亘る入院が、認知症の進行を進めてしまう事を協力病院(清水病院)は熟知しており、ホームへの早い復帰へ向けた早期治療・早期退院に努めております。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	症状が重度化がみられる方に対しては、御家族を交えての主治医からの病状説明を行い、繰り返し話し合いを行って、全員で情報を共有しております。	○	
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	その方の「できること・できないこと」を見極めた上で、御家族の方・主治医との相談・話し合いを何度も行い、その方により良いケアの提供・支援に取り組んでいます。	○	
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	家族の意見を尊重しつつ、入居者の状態に合った退去先を紹介しています。退去先に移った時の、ダメージが軽減されるよう、タイミングを考慮しています。	○	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者一人ひとりに合った対応を行い、相手の人格を尊重するよう心掛けております。	○	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	職員が常に一人ひとりに気を配り、話しかけを行っております。また、入居者の話を丁寧に聞くようにしています。	○	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者一人ひとりのペースに合わせた業務を行っております。	○	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	月に一回ホーム内での散髪を利用して頂き、カット時に好みの髪型を伝えています。また、家族の方が、付き添いで美容院へ出掛けております。	○	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	たとえば、食事面で青魚が苦手な方には、白身魚に変えたり、食後の食器拭きの手伝い等をして頂いております。	○	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	御家族の方に、好きなものを持って来て頂き、職員が預かった上で、本人様が希望された時に、お渡しして召し上がって頂いております。	○	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	定期的なトイレ誘導を行い、記録を行い排泄パターンを理解した上で支援をしています。また、本人様の身体的状態により昼間でも紙オムツを使用されている方も、おられます。	○	
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人様一人ひとりに合わせた、くつろいだ入浴を提供しています。	○	
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人ひとりのペースに合わせて、生活して頂いています。	○	
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	趣味である絵を描いて頂いたり、御家族と外に出掛けて頂いたり、その方に合った生活をして頂けるよう支援しております。	○	
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理ができる方には、職員が付き添いでお買い物をして頂いています。また、管理ができない方には、事務所で出納帳を付け、領収証を残して御家族へ報告して、納得されております。	○	
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	季節や天候を考慮し、散歩やドライブに行けるように支援しております。	○	一年を通して御家族と花見に出掛け、お弁当を広げたり、不定期で町のイベントに出掛けたり、外出への支援をしています。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	御家族にも協力して頂き、外出への機会を作り、支援しております。	○	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙やハガキを書いて頂いた場合には、本人様が望まれた場合には、それを職員が出しています。電話は2階事務所の電話を職員が同行して利用して頂いております。	○	
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	お客様にはお茶を提供したり、居室やホールを利用して頂き、職員は出来るだけ席を外す配慮をしています。	○	
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は認知症にとって、望ましくない事を認識しており、身体拘束は行っていません。	○	身体拘束に関する研修や講演会に参加し、拘束を行わないケアの在り方を学習し、全職員へ周知するように取り組んでいます。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	出入りにチャイムを付けるなどして、来客などの出入りが分かるようにし、カギを掛けない工夫をしています。	○	
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	居室で過ごされている入居者の方には、度々様子を見に行くなどして、気を配っております。	○	
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	入居者の方々へ危険が及ばないような、保管方法を行っております。	○	手洗いの為のポンプ式の石鹸、手の消毒の為のアルコールなど、必要に応じて準備し、使用するよう心掛けております。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	緊急時には、系列の協力病院が対応するように緊急マニュアルがあります。	○	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>入居者の緊急時には、系列の協力病院の緊急体制を取っています。また、緊急時に備え、職員も学習を行っています。</p>	<p>○</p> <p>職員間での緊急時の応急手当の訓練を、備え、繰り返し行っていきたくと思います。</p>
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>ホームの避難訓練は定期的に行われ、マニュアルを備えています。また、地域の人々の協力も得られるようにしています。</p>	<p>○</p> <p>ホーム下のガソリンスタンドへ、何か起こった場合は、避難するための加勢をお願いしております。</p>
72	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>	<p>御家族の方々には、質問されたことに関しては納得されるように説明して、入居者の方・御家族・職員とともに抑圧感なく、楽しく生活出来るようにしています。</p>	<p>○</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>毎日、バイタルチェックを行っており、記録を残し、食欲不振や顔色などの変化に注意し、常勤の看護師へ連絡している。</p>	<p>○</p> <p>受診が必要であれば、系列の協力病院で診察を受けて頂き、また、入院しなければならない時には、御家族へ電話にて本人様の状態・症状を報告し、入院の必要に対する了解を頂いております。</p>
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>服薬は、本人様が飲み忘れがないか必ず確認を行っております。また、本人様の毎日の症状の変化を医師と相談しながら、服薬の支援を行っております。</p>	<p>○</p> <p>服用忘れがないように、常に気をつけて使用している薬の目的・副作用・用法・用量を理解し、医師の指示通り確認し、服薬の支援をしています。</p>
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>便秘解消に繋がるよう、野菜を多く取り入れるような献立の工夫や、運動不足解消のための軽い体操を毎日勧めています。</p>	<p>○</p> <p>年齢とともに、食事摂取量と運動量の減少が見られるので、食べ物の工夫、適度な運動を心掛けて努めていくようにしています。</p>
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>出来るだけ本人様の力で出来るよう、口腔ケアを勧めております。</p>	<p>○</p> <p>口腔内の清潔に、常に気を配り日常的に支援してゆくように努めております。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	糖尿病で食事制限をされている方もおられ、献立の栄養バランスは栄養士の協力を得ております。また、日々の食事摂取量は個別に記録を残しております。	○	一人ひとりに合わせた食事の提供を行っており、おかゆや主菜をほぐしたり、刻んだり、メニューによってどうするか本人様へ確認をしながら提供を行っております。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症予防のため、毎日の手洗い・うがいを勧め、常に清潔を保つ働きかけを行っております。インフルエンザ予防接種も受けて頂いております。	○	感染が疑われる処理物の対処法や、病院・保健所への相談など、発生した場合の対応手順を学習しております。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理用具は毎日、殺菌・消毒を行い、食材は毎日届く新鮮な物を使っております。	○	調理毎に提供している食事の一部少量を、一定の期間冷凍保存を行っており、万が一の食中毒に備え、発生源が特定出来るよう努めております。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	いつでも気軽に出入りができるように、家庭の雰囲気で花などを植えたり、玄関には入居者の方の作った作品などを飾ったりしています。	○	
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	違和感をもたらすような物は置かないようにし、明るく、家庭的な雰囲気になるような設備や、装飾を心掛けております。	○	
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者の方が独りで過ごされる個室の居室や、他の入居者の方とお話出来るホールや食堂があります。	○	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室へ家から持って来られた馴染みの身の回り品を持ち込んで頂いております。	○	
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気扇や窓の開放などで、随時、換気を行い、冷暖房は入居者の方達が寒さを感じないよう、その日の気温に合わせた温度調整を行っております。	○	
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下・壁面部への手すりの設置や、段差を解消するため、床は常に平面を保った設備になっています。	○	各居室内にはトイレを設置し、歩行不安定な方も心配なく自立が出来る。ホール・食堂なども近くにあり、移動などもスムーズに行えるようにしています。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	各部屋には場所の名前を書いたネームプレートがあり、入居者の方々に分かり易く表示をしています。	○	
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ホームにはベランダがないので、駐車場入り口にある花壇を入居者の方と見に行ったり、水やりなどをして楽しんでいます。	○	

V. サービスの成果に関する項目	
項目	最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。
88 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいの
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいの
	<input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
89 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> ①毎日ある
	<input type="radio"/> ②数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> ③たまにある
	<input type="radio"/> ④ほとんどない
90 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
91 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
92 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
93 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
94 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
95 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と
	<input type="radio"/> ②家族の2/3くらいと
	<input type="radio"/> ③家族の1/3くらいと
	<input type="radio"/> ④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように
		<input checked="" type="radio"/>	②数日に1回程度
		<input type="radio"/>	③たまに
		<input type="radio"/>	④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている
		<input checked="" type="radio"/>	②少しずつ増えている
		<input type="radio"/>	③あまり増えていない
		<input type="radio"/>	④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が
		<input type="radio"/>	②職員の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③職員の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input checked="" type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が
		<input checked="" type="radio"/>	②家族等の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③家族等の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

日々のケア業務の中で、常に家庭的な雰囲気を中心掛けています。入居者の方々一人ひとりに気配りをして、毎日の健康管理に努めています。